

建物の汚れと洗剤の選択（いえマハリック工法…一般資料）

	カビ	酸化した汚れ	油汚れ	衛生管理	防カビ・除カビ
建物につく汚れ	カビや藻	水垢・雨染み・錆染め等	換気扇（植物油）・ラーメン・焼肉（動物油）・ヒールマーク（鉱物油）	カビ・大腸菌・ノロウイルス・MRSA・レジオネラ菌死滅させ除去	木部用
使用洗剤	いえマハリック-A	いえマハリック-F	いえマハリック-O	万能洗剤	いえマハリック-I
液性・PH	アルカリ性	酸性	アルカリ性	アルカリ性	アルカリ性
主成分	次亜塩素酸ナトリウム	フッ化水素酸ナトリウム 金属封鎖材	非イオン系界面活性剤	脂肪酸エステル	次亜塩素酸ナトリウム
比較※Remro	カビを死滅（タンパク質分解）…カビの菌核を分解することで根絶せしめ、次回の発生を長期化	還元反応…金属封鎖材により、洗う躯体面を包みこみ、酸性がもつ躯体を痛める効果を遅らせる。その間に酢酸とフッ化水素ナトリウムが汚れを還元	乳化反応…油を乳化させ、違う物質（水に溶ける物質）に変える＝酸化分解	菌の死滅と汚れ除去が1作業…カビ・大腸菌・ノロウイルス・黄色ブドウ球菌を死滅させると同時に、油汚れを乳化させ、素早く除去	リクニンを元に戻しカビ死滅…木材の成分：リクニンが紫外線により黒くなるのを元に戻し、カビを除去
※他社	漂泊するのみ…漂泊効果を求め、菌糸と胞子を除去するのみ。すぐにカビを再発	剥離…塩酸・フッ酸・フッ化アンモ等の劇毒物を使用。躯体や環境上の問題あり。	剥離…油を分解するのではなく、躯体から油を剥離する	なし	剥離…過酸化水素水・シュウ酸等で表面を焼き、水洗い＝躯体を痛める
安全性	主成分の次亜塩素酸ナトリウムは一般に野菜などの洗浄及びおしぼりの殺菌に使われる食品添加物指定のものを使用し、同じく成分中の水酸化ナトリウム（同食品添加物）は助材として使用しており、刺激性は不要です。	主成分のフッ化水素ナトリウムはフッ化水素単体では劇毒物扱いとなりますが、ナトリウム化することで劇毒物該当物質ではなくなります。しかし高濃度での使用や酸性という性質上、排水や動植物への影響はありますので、環境影響が懸念される場合は専用の中和剤を使用し施工します。	主成分の界面活性剤は食品工場などの手洗いに使用しているものを採用しており、リンや油分を一切使用していません。人体や排水等に影響はほとんどありません。	主成分は食品添加物以外のものは使用しておりません。	主成分は次亜塩素酸ナトリウムのためRemro-A同様安全性に問題ありません。
用途	除菌洗浄剤	外壁タイル等の水垢	建物内外の油汚れ	厨房の床・壁	木部のカビ
	建物内外のカビ除去	煤煙・さび染み	床（タイル・コンクリート・塩ビ・石材）のヒールマーク	厨房機器の外側	日焼け
	藻の除去	尿石・エフロ	鉱物油・重油・オイル	業務用冷蔵庫のゴムパッキン	
	タバコのヤニ除去	ステンレス・鏡の水垢	化繊製品のコーヒー染み	店舗内のテーブル・椅子・床	
	すす汚れ				